

# FB通信

うつのみや

フードバンク  
うつのみや

② -2022/8/25- //2019年1月15日創刊//

NPO法人フードバンクうつのみや  
栃木県宇都宮市埴田2-5-1 共生ビル1階  
TEL 028-348-3412  
URL <https://fbu2189.org>  
FAX 028-623-6036



県北 20  
宇都宮 22  
チャリティウォーク  
みんなで作るセーフティネット  
「フードバンク」

毎年10月に長距離ウォークでフードバンク(FB)を応援するチャリティウォーク(CW)は、2013年から始まり、今年で10回目の開催だ。一度参加するととりこになってしまうこのイベントの発案者・矢野正広さん(とちぎボランティアネットワーク理事長)と、第2回から参加している熱心な参加者の牧岡健さん(FBうつのみや職員)に話を聞いた。

## 栃木の助け合いは フードバンクから。 あなたもチャレンジャーに!

### ◆寄付は、自分の気持ちを 世の中にアピールできる

なぜこのイベントを思いついたのか。矢野さんは「FBでは日常的に食に困る人が相談に来ているけど、多くの方はそういう現場を見る機会は少ないでしょ。見えない活動に寄付をするのはハードルが高い。ならば『何かに参加してもらい参加費を寄付に』と考えました。それで考えたのが、宇都宮から日光・中禅寺湖まで2日間かけて歩くCWだったんだよ」と話す。

約56.7kmを歩くチャレンジングなイベントだ。寄付は自分の気持ちを世の中にアピールできる機会になると考え、FBに寄付をした人が参加できることにした。

特徴は、寄付や食品は自分だけでなく周囲の人にも呼びかけて集めてくること。矢野さんは「寄付をするとその日1日くらいはいい人になれるし、自分だけでなく他人もいい人になるチャンスを作れる」という。長距離を歩く&いい人を増やすという2つの意味で、参加者を「チャレンジャー」と呼んでいる。

### ◆「歩いて1日いい人になろう！」

初回は「バカだねー!」「いろは坂って歩けるの?」など、イベントを面白がる人が集まってきた。一度参加すると魅力に気づくのがCWで、無謀にも見えるチャレンジをした後の達成感はひとしお。

現在本会職員で、熱心な参加者の牧岡さんは「矢野さんに『歩いていい人になろう!』とだまされて(笑)、第2回CWに初参加しました。初対面の人同士でも長距離を一緒に話しながら歩いて楽しかったです。知らないうちに誰かのためになり、このイベントがあってFBうつのみやが10年続いてきたと思うとすごいな」と話す。

初めて参加する人にとっては、周りの人から寄付を集めることは初挑戦かもしれない。矢野さんにコツを聞くと「勇気を出して声をかける!」とのこと。今年は寄付先のFBも増えた。「県内の7つのFBを応援するCWにチャレンジする私を応援して!」と言うのもいいかもしれない。チャリティウォークに参加すれば、1日いい人になれますよ。(宮坂)



矢野さん

牧岡さん



◆ 2022/10/1, 10/8 チャリティウォーク県北20・宇都宮22参加者&寄付募集中! ◆



# 今月のSOS

FB 相談世帯数（食品提供回数）

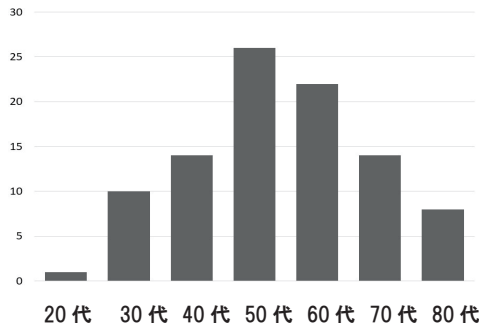
6月 117世帯（支援145回）

7月 126世帯（支援184回）

FB 主な利用理由(2022/6-7)\* 複数回答・総数 243 人

FB 年代別 相談者数 (2022/6-7) 世帯代表 95 人

低収入・ 低年金	失業・就職		家賃 滞納	
	48		19	
	病気・ 障がい	精神 疾患	金銭 管理	DV・ 離婚
9			6	
63	18	10	ケア 3	住居 1



身近に誰も頼れる人がいない人が多いです

コロナの影響での収入源、失職が途絶えません

## 今月のSOS の一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して抜粋掲載。

### 6月 117 世帯 (複数支援 145 回)

6/1 ● T・M 女 60代・宇都宮市内。夫の年金月 10 万円が主収入源。夫は脳梗塞、本人は乳がんで退院したばかり、孫 2 人を息子として養育している。長男の**中学入学費用が 10 万円以上**かかってしまいお金がない。生活保護を申請したので、お金が入るまで支援。⇒米 12 kg 食品 13 kg 支援

6/3 ● B・T 女 40代・宇都宮市内。娘と 2 人暮らし。3 月末で派遣の契約満了。収入は新聞配達で月 7 万円。家賃と光熱水費を払ったら食費が無くなってしまった。**別居中の夫から生活費がもらえない。**⇒米 13 kg 食品 11 kg 支援。婚姻費用が請求できるか法テラスに相談するよう助言するも「夫と関わりたくないの仕事を探して自立する」と。

6/4 ● T・T 女 30代・宇都宮市内。夫がコロナの影響で失職後、貯金で生活。最近仕事に就いたが、バイトのため収入は 8 万。本

人は**子ども 2 人の預け先がなく**仕事に就けない。⇒米 5 kg 食品 9 kg 支援

6/14 ● A・M 男 20代・宇都宮市内。小さい頃から**虐待**を受けていた。働くようになってからも**父に金銭を搾取**されるので、父と別居し自立を目指したが、引越しにお金がかかり食品が買えない。⇒食品 7.3kg 支援

6/23 ● P・M 男 40代・宇都宮市内。窃盗で服役し、刑務所を昨年 8 月に出所。働いていたが、仕事が無くなり 3 月から**ホームレス**。知り合いから飲食店での残り物をもらって生活していたが限界を感じ市役所に行き FB を紹介された。⇒食品と飲料 8 kg 支援

6/28 ● D・R 女 20代・宇都宮市内。5 月に**コロナ感染**し、休職。そのため給与の手取りが低く、次の給料日まで食品が買えない。⇒米 3 kg 食品 5.1 kg 野菜 1.5 kg 支援

6/30 ● J・D 女 50代・宇都宮市内。27 年前に夫と死別。夫の通帳関係はすべて夫の親族にとられ家を出されてしまいそれから一人暮らし。身内は頼れない。職場の工場まで朝 3 時起きで電車を乗り継ぎ通っていたが体がもたなくなり退職。今はホテルの清掃の仕事に就いたが時給 887 円、短時間なので**週 6 日働いても 8 万円弱**。生活保護の申請は受理されず FB を紹介された。炊飯器がなくレンジも壊れている

## FBでたすかりました

### 「もう一度頑張ってみるか」 車上生活から脱出

田中 守さん (仮名・50代)

北関東のA市で派遣として長く働いてきました。今年から行っている現場では、東北出身の自分はよそ者扱いされるので嫌な思いをしていました。つい最近些細なことからトラブルになり、今までの不満が爆発して勢いで職場を辞めてきてしまいました。とりあえず宇都宮で生活しようとここ何日か車上生活し、市役所に相談したところ、FBを紹介されました。

FB で話を聞いてくれたスタッフがたまたま働いていた現場のすぐ近くの出身とのこと。話をしているうちに、「A市で嫌な目にあったけど、今度はA市出身の人に助けてもらった。社長も戻ってこいと言っているし、もう一度あの地で頑張ってみるか」と思い始めました。食品を手渡してもらった頃には気持ちが固まり、スタッフの人にまた頑張ると宣言し、A市に向かいました。



# SOSの途中

## ■「車を売るので退学します」

水田さんは、母親と祖父に育てられてきた。特に祖母が生活の面倒を見てくれた。祖母が倒れ3年前から介護にかかりきりとなった。祖母が亡くなる直前に母親が脳梗塞を発症し、数か月の闘病の末、祖母と母親を相次いで亡くした。現在は、市営住宅に特別支援学校高等部へ通う独り息子(利男くん 18歳)と暮らしている。

家族の介護中心の生活だったため、ハロワに通っていたがここ3年間は定職に就くことが難しかった。貯金を取り崩し生活していたが、とうとう底を突いた。そこで、23年乗り続け、間もなく車検予定の車を売り生活費に充てようと考えた。しかし、この車で毎日、息子の学校への送迎を行っていた。直情的な水田さんは「生活費のため車を売るので、学校への送り迎えが出来なくなってしまう。だから退学します」と担任の先生に電話をしてしまった。

## ■生活保護申請2回目を通った

夏休み直前の学校は大騒ぎ。何とか水田さん親子の生活を立て直し、利男くんを無事卒業させたいと、担任の先生とスクールソーシャルワーカーの2人が付き添い、水田さん親子は市役所へ生活保護の利用申請に行った。結果は「仕事を見つけ、生活費を稼いでください」との答えで申請は受け付けられなかった。その日は帰りにFBを訪れ、食品を準備しながら経過を聴き、改めて申請に行ってみようということになった。

翌日、宮ハローワークからの仕事の紹介を受けながら、生保利用申請に再挑戦。《仕事を探し、利男くんが学校にいる時間・送迎の時間の短時間の就労を早急に行うこと》が条件

小澤勇治 ● 本会職員

## 生活保護の「自立の助長」 車を手放さないといけない？

水田良子さん (仮名 45歳)

だった。先生も利男くんが学校に通うことが可能となったためほっと胸をなでおろしたという。

## ■車がない＝社会参加難しく

8月3日の厚生労働省(社会・援護局保護課)発表資料によると、前年同月に比べ生活保護の申請件数、開始世帯数ともに10%ほど増加している。社協の総合福祉資金貸付が終了したこともあると思われるが、コロナ禍の人々の生活は決して改善していないと言うことである。

さて、ここで生活保護利用者が車をどのように利用するかという問題。①売却して生活費の一部にする「資産の活用」と、②経済的自立につながるための社会生活を支える「資産の活用」がある。就労可能な年代の人には、コロナ禍の就労困難な状況を反映してか、即座に車の処分をするような「強い指導」はあまり見られなくなったように感じる。しかし「半年間は所有を認める」など期限を区切ったものである。「自立」とは、「経済的自立」⇨「就労し生活保護利用からの早期離脱」は中心となるものの、そのことを成し遂げるためには、「日常生活の自立」、「社会的な自立」が支えにならなければならないだろう。

水田さん親子の場合、車を処分し一時の生活費が手に入ったとしても、仕事探しに支障出るのはもちろん、買い物などの日常生活、利男くんが学校に通えなくなることで親子の社会生活参加を奪ってしまいかねない事態であったことは明白である。生活困窮者の「自立の助長」を積極的に図っていく生活保護の目的に即し、利用世帯の実情に見合った「指導」「援助」が求められている。車の所有についても考え、利用者その人の生活にそった支援に結び付けたいと思う。

のでお湯しか沸かせない。泥棒にも入られた。⇒調理不要の食品 3kg野菜 2kg飲料 1kg 支援

## 7月126世帯 (複数支援 184回)

7/6 ● K・M 男 50代・宇都宮市内。精神疾患が原因で就労できず、生活保護を27年前から受給している。今まで保護費で生活できていたが、急に何もかも嫌になってしまい保護費をすべて飲食に使ってしまい困窮。⇒米 5kg食品 6kg 支援

7/12 ● Y・K 男 50代・県外。北海道から東京に仕事を探しに行ったが、仕事が見つからなかった。北海道に帰る途中宇都宮でお金が尽きてしまった。⇒食品 5kg 支援

7/14 ● F・S 男 50代・宇都宮市内。トラック運転手だったが3年前に脳梗塞発症し退職。月に一回通院中。運転手の仕事を紹介され県外で働いたが上手く働けず退職し宇都宮に戻ってきた。本日生活保護を申請。⇒米 5kg食品 5kg 支援

7/20 ● Y・T 男 30代・宇都宮市内。福島県出身。兄とともに施設で育ち、両親は顔も知らない。20歳頃から薬物で刑務所を出たり入ったりしており、今回は7/1に出所。本日生活保護の申請をしたが、引っ越してきたばかりで、寝具も調理器具も何もない。⇒食品 8kg 支援

7/21 ● A・S 男 50代・宇都宮市内。4年前に父が亡くなり、その時に妻のお金の使い込みが発覚。それを期に妻は子ども2人を

連れて家を出た。後日弁護士を通して離婚と多額の財産分与を迫られ、貯金や財形貯蓄を切り崩し支払い離婚。そのことでうつを発症し休職。無収入になった今でも借金をして養育費を払っているので減額の調停を起こした(係争中)。近くに住む86歳の母に米とお昼を支援してもらっている。⇒食品 6.8kg 支援

7/26 ● O・T 女 40代・宇都宮市内。夫と2人で来所。ともに精神障害を持ち、生活保護と障害基礎年金を受給。腰を怪我してしまい調理ができなくなり、コンビニやスーパーで弁当や総菜を買う機会が増えて食費が足りなくなった。⇒食品 7kg 支援



## フードバンク応援団!



ボランティアのつぶやき  
相澤亜友子さん



## ガンジー基金で若者にもっとFBを知ってほしい

税理士法人アミック&パートナーズやよい事務所 税理士所長 石川輝雄

私とFBとの出会いは、とちぎボランティアネットワークが開催した「FB説明会」に参加したことがきっかけでした。その後「チャリティウォーク 56.7」というFBの資金集めのイベントに学生の参加寄付金を補助する寄付を頼まれ、「ガンジー基金」と名付け、以来9年間「ガンジー輝雄」として寄付してきました。ガンジーと名付けたのは、私の顔が尊敬しているインド独立の父「マハトマガンジー」に似ていると言われたからです。多くの若い人たちにFBのことを知ってもらって、CWに参加してもらいたいです。

ロシアのウクライナ侵攻の惨状に心を痛めています。次世代の若い人達の為に、戦争と核兵器の無い世界を実現することが私の願いです。

## 誰かのためを思って行動するとき、同時に私も満足感を得ている

私がFBの活動を知ったのは、今から7～8年前のチャリティウォーク。当時の職場の先輩に誘われて、いろは坂の休憩ポイントでボランティアとして参加したのがきっかけだった。それまでは全く知らなかった貧困の現実。それから毎年チャレンジャーとして参加する中で、自分にも出来ることがあることを知った。

結局、誰かのためを思って行動するとき、同時に自己の満足感も得ているのだから、私にとってはWIN-WINな関係で、気楽にボランティアをしている。残念なことに、FBの活動は予想以上に知られていない。余った食品の寄付、ボランティア、チャリティウォークの参加、活動資金の寄付。FBの活動には様々な人が様々な形で関われる。もっともっと多くの人知ってもらおう手立てはないか、あれやこれやと思案する日々である。

◀職場の仲間と参加したチャリティウォーク。  
一番左が相澤さん



予告・10/29(土)  
きずなの食品配布会

お米や乾麺中心の「きずなの食品配布会」を、10/29(土)に泉が丘支所で行います。コロナ禍での失業や、子育て、不安定な労働環境にいる人・学生など、様々な事情で生活が苦しい人に、少しでも生活の一助となれば、ということで偶数月に配布会を行っています。詳細は10月初旬頃お知らせします。継続して行うためには、皆様からの食品や活動資金のご寄付が必要です。引き続き、ご協力をお願いします。

## F B ボランティア募集

●問 /028-348-3412

おきがるに ご連絡ください

- ・チャリティウォークボランティア  
10/1、10/8のチャリティウォークイベントの運営ボランティア。参加者が安全に楽しく歩けるように警備やふるまいなど。月2回実行委員会があります。独自のチャリティ企画も大募集!
- ・相談聞き取りボランティア★大募集  
FBに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。

- ・パソコン入力ボランティア  
食品の入庫・出庫伝票のデータをパソコンに打ち込みます。週1回程度。
- ・食品回収ボランティア★大募集  
スーパーや施設へきずなボックスの食品の回収のために車を運転します。月2～4回。
- ・食品管理ボランティア  
入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1～2日、3時間位が目安。

## 会員・寄付者

ありがとうございます♡

7/31 現在：正会員55人、賛助155人、団体9、学生3)

《6～7月の新規・継続会員》※敬称略

■正会員/ 荻津守 麦倉泰子 服部有 岩崎幸子 原隆 武井大 石塚都夫 石川輝雄 徳山篤 石江力 他2名 ■賛助会員/ 高橋恭子 松葉友恵 小松玲子 松本栄 塩澤達俊 市岡淑子 佐藤明宏 小林善次 片崎春恵 江波戸住子 小林茂之 山崎寛子 赤羽路美 小須田のみ 飯塚仁美 須黒雪枝 中村絹江 永森裕子 堀江裕弥子 折原恵子 平木ちさこ 村田恵子 卜部陽子 小針雅美 鈴木由美 竹内美由紀 塚本明子 高田美保 廣田光子 境京子 林俊夫 菊池麻美 菊池順子 渡邊力ヨ子 藤咲健司 齋藤継正 宮村尚 生野裕子 塚原綾子 林紀尚 市原ゆかり 池内祐介 木村礼子 齋藤恵子 清水美代子 他2名 ■団体会員/ 宇都宮農業協同組合 済生会宇都宮病院

《6～7月の寄付者》※敬称略

細谷小子どもの家 堀昌克 恵光寺 星宮有子 岩坂瑞彬 榊八洋フーズ 上野智裕 須黒雪枝 永森裕子 佐藤るり子 岩崎幸子 石川真太郎 塚本明子 武井大 宇都宮中央ライオンズクラブ 渡邊力ヨ子 宮村尚 高橋一枝 矢吹佳子 赤羽路美 小林茂之 浅野実 他5名



「もったいない」を  
「ありがとう」に。  
会員を大募集中!  
ボランティアも

◆会費(年間)

◎ 正会員	12,000円
◎ 賛助会員	3,000円
◎ 団体会員	30,000円
◎ 学生サポーター	1,000円

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義/特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事徳山篤  
※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■Webサイトから

クレジットカードでのご寄付もできます。



HP



Twitter